きちの 話題 157

市町村対抗駅伝競走

1月31日、**第64回高知県市町村対抗駅 伝競走**(安芸郡市体育会主催)が開催され、 43チームが参加しました。

天候にも恵まれた今大会は、室戸市から安芸市まで西進する8区間46.5 % で競われました。香美市Aチームが19位(2時間49分48秒)、Bチームが39位(3時間04分58秒)でした。

今大会では中村祐介選手が10年連続出場 表彰を受けました。



▲表彰状を手にした中村選手(後列左から5人目)

天高く題名 8 新春瓜揚げ

1月17日、物部町大栃の柳沢グラウンドで、物部地区公民館主催の**凧揚げ大会**が開催されました。

22回目の今回は、凧作り教室で作った凧を手にした 大栃保育園児や祝凧参加家族ら約70人が集まりました。 会場では、昨年誕生した赤ちゃんの名前を入れた1メートル四方の祝凧や、保育園児の凧が次々と揚げられました。また、昼食には神池婦人部の皆さんが作ったぜんざいや七草がゆなどが振る舞われ、冷えた体を温めるようにおいしくいただきました。

寒風吹きすさぶ中の凧揚げとなりましたが、天高く舞 う凧に大きな歓声が上がり、新春の青空の下、心地よい 汗を流しました。

災害時に活用します

2月15日、**株式会社ヒワサキ**から香美市に対し、プロパンガス専用ポータブルエンジン発電機1台が寄贈されました。これは地域



寄贈された発雷機

社会貢献活動の一環として、災害時に役立て てほしいと寄贈されたものです。



▲副市長に目録を手渡す(株)ヒワサキの日和﨑社長



1月24日、土佐山田スタジアム周辺で、**第10回香 美市子ども会連合会ピッタリタイムマラソン大会**が開催 されました。

当日はこの冬一番の 冷え込みとなりました が、参加した人たちは 息を弾ませながら、そ れぞれが設定したタイ ムを目指して元気に走 りました。

結果は次の通りです。

【大会結果】

- 1位 大谷眞輝(楠目小) タイム誤差+10秒
- 3位 森本結心(楠目小) タイム誤差-13秒
- 3位 石川翔大(舟入小) タイム誤差+17秒

2月4日、山田高校商業科の生徒が授業の一環で 製作したまんじゅう・高校三年生の山田まんの完成 発表記者会見が開かれました。

このまんじゅうは、香美市在住で全国的に活躍するデザイナー・梅原真さんや製菓会社・青柳の協力のもと、坂田信夫商店(香美市)の『黄金生姜』を使用して作り上げたもの。皮には竹炭が混ぜ込まれ、黒い一口サイズの見た目が印象的です。また、あんには刻んだショウガが練り込まれ、さわやかな風味と共に食感も楽しめるものとなっています。

この日の記者会見には生徒らのほか、梅原さんや各企業の代表が出席。生徒らは、「香美市から全国への土産物として、一過性のブームではなく長く愛される商品になってほしい」と、初々しいながらもしっかりとした語り口で、『山田まん』をアピールしていました。



1月9日・10日の両日、県立青少年センター(香南市)を主会場に、香北体育センター・宝町体育館・山田高校などの県内16会場で、第17回四国近県交歓小学生バレーボール大会(アンパンマンカップ)が開催されました。

この大会は、香美スポーツ少年団香北バレーボールクラブと舟入ジュニアバレーボールクラブを中心としたアンパンマンカップ実行委員会(五百蔵隆実行委員長・香北町在住)の主催で毎年開催しており、小学生の大会としては西日本最大の大会です。今回の大会には、四国・中国・近畿地方から212チーム、約2.500人が参加し熱戦を繰り広げました。

選手を代表し、山岡蘭選手(山田小6年)と佐藤松 真選手(山田小6年)が選手宣誓をしました。



▲山田まんをアピールする生徒と梅原真さん(中央)

昨年5月から9カ月以上にわたり、完成に向けて 試行錯誤しながら取り組んできた生徒たちにとって、 とても貴重でこれからの糧となる経験だったのでは ないでしょうか。

『山田まん』は7個入り540円(税込み)。県内の土産物店などで販売されています。

平山さんに 全国予ども会議合会表彰

1月17日、**全国子ども会連合会表彰**が高知 市青年センターアスパルこうちで行われ、平山 佳志美さん(土佐山田町東川)が表彰状を授与さ れました。

平山さんは、平成6年から旧土佐山田町子ども会連合会委員として活動し、合併後は香美市子ども会連合会会長として、子ども会の組織作りに尽力されました。また、平成22年には全国子ども会認定指導者の資格を取得され、子ども会活動の推進および子どもの

育成と指導に熱心に取り組んでくださっています。現在は、香美市だけでなく、高知県子ども会連合会監事としても活躍され、高知県の子ども会活動にも大きく貢献されています。

全国子ども会連合会 からは今回の表彰に際し て、平山さんの活動を理 解し協力してくださった 夫の平山薫さんに対して も感謝状が贈られました。





佳志美さん